

各分野における女性の参画状況

各分野において女性の参画が着実に拡大しているものの、依然としてその割合は低く、一層の取組を進める必要がある。

衆議院議員 ・ ・ 45人 / 480人、9.4% (2006年4月)

・ 1.9% (1952年10月) 43人、9.0% (2005年9月)
・ 188か国中、128位 (列国議会同盟HPより試算、2006年)

参議院議員 ・ ・ 34人 / 242人、14.0% (2005年10月)

・ 6.0% (1953年4月) 13.6% (2004年7月)

国の審議会等における委員 30.9% (2005年)

・ 2.6% (1975年)
・ 2006年4月、男女共同参画推進本部において、新たな目標を決定。
〔委員：2020年までに男女いずれか一方が40%未満とならない。〕
2010年度末までに、女性委員が33.3%。
・ 都道府県：29.8%、市(区)町村：24.8%(2005年)

地方議会議員 ・ ・ ・ ・ 8.8% (2005年)

管理的職業従事者 ・ ・ 10.1% (2005年)

・ 1.2% (1975年)
・ 都道府県議会：7.2%、市区議会：11.0%、町村議会：6.4% (2005年)

国家公務員管理職 ・ ・ 1.7% (2005年)

・ 米国：42.1%、ドイツ：35.2%、スウェーデン：31.8% (2004年)

司法分野 ・ ・ 裁判官：13.7%、弁護士：12.5%、
検察官：9.5% (2005年)

・ 142人 / 8,456人
・ 米国：23.1% (2001年)、フランス：19.3% (2001年)、
ドイツ：9.5% (1998年)

研究者 ・ ・ ・ ・ ・ 11.9% (2005年)

・ 裁判官：2.1%、弁護士：3.3%、検察官：1.0% (1977年)

医師国家試験合格者 ・ ・ 33.7% (2005年)

・ 7.9% (1992年)
・ フランス：27.5%、イギリス：26.0%、ドイツ：15.5% (2000年)

・ 19.2% (1991年)

第1子の出産時に離職する女性の割合 ・ ・ 67.4% (2001年)

第2次男女共同参画基本計画(2005年12月27日)

政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

- ・2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が**少なくとも30%**になるよう期待し、各分野の取組を推進。
- ・各分野で**積極的改善措置**に自主的に取り組むことを奨励。

女性のチャレンジ支援

- ・チャレンジ支援策を推進し、情報の一元化や関係機関のネットワーク化によるワンストップ・サービス等を提供する環境を構築。
- ・一旦家庭に入った**女性の再チャレンジ**(再就職、起業等)支援策を充実。
- ・育児等を理由に退職した者の再就職先として正社員も含めて門戸が広がるよう企業の取組を促す。

男女雇用機会均等の推進

- ・**男女雇用機会均等法を改正**
(男女双方に対する差別の禁止、間接差別の禁止、妊娠等を理由とする不利益取扱いの禁止、男性に対するセクシュアルハラスメントも対象とする等)

仕事と家庭・地域生活の両立支援と働き方の見直し

- ・**男性も含めた働き方の見直し**を大幅かつ具体的に推進。
- ・**短時間正社員**など質の高い多様な働き方を普及。公務員については、常勤の国家公務員に育児・介護のための**短時間勤務制度**を導入。
- ・短時間労働者への厚生年金の適用の在り方について検討。
- ・保育サービスの充実など、多様なライフスタイルに対応した**子育て支援**策の充実。

新たな分野への取組

- ・新たな取組を必要とする分野(**科学技術、防災**(災害復興を含む)、**地域おこし・まちづくり・観光、環境**)における男女共同参画を推進。
- ・女性研究者の採用等拡大、育児等との両立支援。
- ・男女のニーズの違いを考慮した防災対策。
- ・女性が参画した地域づくりの優良事例の普及。
- ・環境保全分野での女性の参画を拡大。

男女の性差に応じた的確な医療の推進

- ・医療関係者及び国民に男女の**性差医療**についての知識の普及を図る。

男性にとっての男女共同参画社会

- ・男女共同参画社会の形成の男性にとっての意義と責任や、地域・家庭等への男性の参画を重視した広報活動を推進。

男女平等を推進する教育・学習の充実

- ・2015年までにすべての教育レベルにおける男女格差を解消。

女性に対するあらゆる暴力の根絶

- ・**被害者の保護や自立支援**等の施策の推進。
- ・**女性に対する暴力の予防**のための対策の推進。

あらゆる分野において男女共同参画の視点に立って関連施策を立案・実施し、男女共同参画社会の実現を目指す。